

紙ふうせん

KAMIFUSEN No.100

成田市立図書館だより 第100号

2025（令和7）年9月30日発行

編集 成田市立図書館

〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3

<https://www.library.city.narita.lg.jp>

☎ 0476-27-4646（自動応答）

0476-27-2000（直通）

FAX 0476-27-4641



ごあいさつ

館長 飯田 幸治

創刊から長い年月を経て、図書館だより「紙ふうせん」は記念すべき100号を迎えることができました。ご愛読くださる皆さまに、心より感謝申し上げます。これからも地域の知の拠点として、世代を超えて多くの方に利用していただける図書館を目指し、歩みを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

紙ふうせん 100

1986（昭和 61）年に創刊した図書館だより「紙ふうせん」が本号で 100 号を迎えました。図書館発行してまいりました。ここでは、これまでの「紙ふうせん」の一部を、表紙とともに紹介し、バックナンバーは本館 2 階参考資料室で閲覧できます。また、第 39 号からは図書館ホームページ



創刊号 1986（昭和 61）年 2 月 15 日発行

- ・図書館はこういうところ
- ・私たちの図書館この 1 年
- ・街角のミニ図書館・インタビューあんなこんな
- ・質問に答えて

記念すべき創刊号は図書館オープンから約 1 年 4 か月後に発行されました。「としょかんこの一年」と題して、貸出ベスト 15 の紹介、利用登録人数や貸出冊数などが掲載されています。

第 29 号 1995（平成 7）年 1 月 1 日発行

- ・図書館、この数字は何だろう？
- ・目で見るとしよかんの 10 年
- ・10 年間で読まれた本ベスト 20
- ・こんなに利用されている成田市図書館

開館 10 周年特集号として、開館後 10 年間の貸出冊数の推移、流行語やベストセラーなどが掲載されています。昭和から平成へ、時代の移り変わりを懐かしく感じる号となっています。



第 43 号 1999（平成 11）年 8 月 31 日発行

- ・図書館は 10 月 27 日で満 15 歳を迎えます
- ・話題の本 15 年

「成田市立図書館の 15 年間で数で表すと・・・」の記事の中で、開館からの 15 年間で、成田市立図書館で最も多く読まれた本が紹介されています。一般書は『『ノルウェイの森（上）』村上春樹/著 講談社』、児童書は『『おおきな木』内田莉莎子/訳 福音館書店』でした。

号までのあゆみ

や本にまつわるさまざまな記事を紹介し、皆さまに図書館を親しんでもらうきっかけとなるよう100号までのあゆみを振り返ります。
にも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

第55号 2003（平成15）年8月31日発行

・赤ちゃんも絵本が大好き特集

「ことば」を話すまでの赤ちゃんにとって、パパやママと絵本を楽しむのは、とても大切な時間です。この号では特集号として、先輩ママのコメントも交えてさまざまな絵本を紹介しています。また質問コーナーでは、絵本の選び方や読み聞かせのこつなど紹介しています。この号からスタートした「赤ちゃんも絵本が大好き」シリーズは、第73号Part15まで続きました。



第68号 2009（平成21）年12月1日発行

- ・図書館は25歳になりました。
- ・「24時間テレビ」より、障がい者サービス機器寄贈
- ・科学あそび講座「宇宙ってどんなところ？」

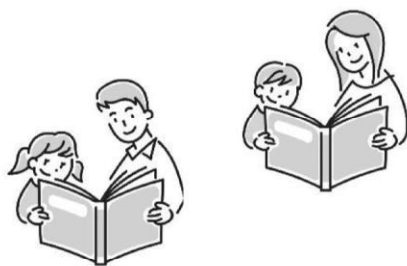
夏休み中に開館25周年を記念して行われた『『いいほんみつけた』クイズ』と「おすすめ本POPコンクール」の様子を掲載しています。また、障がいのある方向けの読書支援機器を紹介しています。一部の機器は現在も使用しています。

第74号 2012（平成24）年11月30日発行

第80号 2016（平成28）年3月15日発行

この2号では、「図書館の仕事」を特集しました。第74号では、表からは見えにくい貸出・返却以外の仕事などを、写真とともにわかりやすく掲載しています。第80号では、図書館に並ぶ本にフォーカスを当て、選ばれてからリサイクルされるまでに行われる業務について、さらに深く紹介しています。





司書がおすすめする

「100」にま

紙ふうせん第100号にちなみ、タイトルや著者など「100」にまつわる本の中から、司書

『まど・みちお詩の本』



まどみちお／著 理論社

「ぞうさん」や「一ねんせいになったら」で知られる、まどみちおさんの100歳を記念して刊行された詩集です。

『百人一首解剖図鑑』



谷知子／著

歌の意味、
ているので
1冊です。

『百年の孤独』



G. ガルシア=マルケス／著 新潮社

蜃気楼の村マコンドを開墾しながら、愛なき世界を生きる孤独な一族、その100年の物語です。

著者は、主に本作により1982（昭和57）年にノーベル文学賞を受賞しました。

『100 まんびきのねこ』

ワンタ
いい



年を
さん
まし
んの
で、
は、
こた
が……

『100 万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』



福井県立図書館／編著 講談社

本のタイトルを覚え間違っていて見つからない……。そんな経験はありますか？

この本は、利用者がうっかり覚え違った本のタイトルから、司書が正しいタイトルを導き出した事例集です。

『日本百名山』



深田久弥／
登山家であ
が、自身で
だ100の名
す。

つわる本



のおすすめの本を紹介します。気になる本がありましたら、本の相談へお尋ねください。

著 エクスナレッジ

背景まで詳細に解説され
で、百人一首を網羅できる

『四月のある晴れた朝に 100 パーセントの女の子に 出会うことについて』

四月のある晴れた朝に
100 パーセントの女の子に
出会うことについて



村上春樹／著 新潮社

「四月のある晴れた朝、原宿の裏通りで
僕は 100 パーセントの女の子とすれ違
う。」から始まる村上春樹の人気短編に瀟
洒なイラストを添えたピクチャー・ブッ
クです。

著・ガアグ／ぶん え

ももこ／やく 福音館書店

とったおじいさんとおばあ
は、ねこを飼うことに決め
た。でも、そんなにたくさ
ねこは飼えません。そこ
おじいさんとおばあさん
どのねこを家に置くかをね
ちに決めさせようします

...

『地図帳の深読み』



今尾恵介／著 帝国書院

100 年分の地図を深読みした 1 冊。当時
の社会背景などにも言及し、地図帳を多
角的に楽しむことができます。

掲載されている中で一番古い地図は、
1919（大正 8）年のものです。

／著 新潮社

あり、文筆家であった著者
で決めた基準に沿って選ん
名峰を紹介する随筆集で

『目で見える成田・印西・白井・富里・印旛の 100 年』



小倉博／監修 郷土出版社

明治から平成に至る時代を映した写真集
です。

地域の 100 年間を知ることのできる資料
になっています。

公津の杜分館は こんなところ



公津の杜分館は、成田市立図書館初の大型分館です。2013（平成25）年7月、もりんぴあこうづの1階に開館しました。

蔵書数は約11万冊で、成田市立図書館全体のうちの1割ほどになります。小説や実用書のほか、絵本や紙芝居、大活字本や外国語で書かれた本も所蔵しており、昨年度は延べ6万人以上の方にご利用いただきました。ご家族での利用も多く、本館に比べて児童書、特に絵本の貸出の割合が高いところが、公津の杜分館の特徴の一つです。

館内には複数の展示コーナーがあり、季節や行事、話題になっている事柄に関する資料を紹介しています。また、毎月第2・第4火曜日の15時から、おはなし室にておはなし会を開催しているほか、夏と冬には季節のおはなし会も開催しています。

カウンター席やソファなどのんびり読書できるスペースを用意しています。今まで公津の杜分館を利用する機会がなかった方も、ぜひ一度のぞいてみてください。



電子書籍サービスのおすすめポイント



その① オーディオブックや、音声再生機能付きの書籍もあります。

★オーディオブックは耳で聴く本です。
移動しながら、家事をしながら
読書が楽しめます。



オーディオブックは
←こちらから

★音声再生機能付き書籍は、書籍を開いて
設定画面のふきだしマークを押すと
再生されます♪



その② さまざまなテーマで紹介しています。

本館一般展示と連携した本の紹介や、
「子どもと暮らす、学ぶ、楽しむ」
「江戸時代を知る」「空旅へ行こう！」など
興味のあるテーマをぜひご覧ください。



その③ みんなで一緒に読める本も！

家族や友達と同じ本を借りて
みんなで一緒に楽しめる本もあります。



←「【学研の図鑑】みんなで読める本」

電子書籍サービスサイトはこちらから→

※サービスを利用できる方は、市内に在住
・通勤・通学をされている方です。



「心身障害者用ゆうメール」サービスのご案内

2025（令和 7）年度から、障がいなどの理由により、図書館に来館いただくのが困難な方を対象としたサービス「心身障害者用ゆうメール」がご利用いただけるようになりました。

日本郵便の「心身障害者用ゆうメール」を利用することで、通常の半額程度の送料で図書をご自宅までお届けします（送料は利用者負担です）。

利用には、図書館の利用登録に加え、「障がい者サービス利用登録」が必要です。

対象となるのは市内在住で、①身体障害者手帳の等級 1・2 級の方、②身体障害者手帳の等級 3 級の重複障がいの方、③療育手帳「障害の程度（総合判定）」が「A の 1」「A の 2」の方、④障害者職業センターによる判定書で「重度知的障害者」と記載がある方です。

サービスの詳細につきましては、お気軽に成田市立図書館までお問い合わせください。

※送料等の詳細は日本郵便の『ゆうパック・ゆうパケット・ゆうメールご利用案内』内「心身障害者用ゆうメール」のページをご覧ください。

URL https://www.post.japanpost.jp/img/service/you_pack/goriyou_annai.pdf

小さいお子さんもいっしょに図書館へ！



図書館では、小さいお子さんのためのおはなしかいを定期的に行っています。お子さんとおうちの方が、いっしょにわらべうたや絵本の読み聞かせを楽しめるイベントです。ぜひ、お子さんの年齢に合わせてご参加ください。

0・1 歳のおはなしかい

日時：毎月第 3 金曜日の 11 時から

対象：市内在住の 0 歳から 1 歳児と保護者

定員：12 組（初めての方優先・予約制）

2・3 歳のおはなしかい

日時：奇数月第 3 金曜日の 10 時 15 分から

対象：市内在住の 2 歳から 3 歳児と保護者

定員：15 組（当日先着順）



ブックスタート

絵本の引き換えはお済みですか？

お子さんが 2 歳の誕生日を迎えるまで、図書館本館または公津の杜分館で受け取ることができます。

対象：市内にお住まいの赤ちゃんと保護者（市内で出生、または 1 歳までに市内に転入した方）

持ち物：絵本引換券・母子健康手帳

子ども向け講座「これからの斉藤洋とおばけずかん」

講師：斉藤洋先生（作家） 2025（令和7）年6月14日（土曜日）

子ども向け講座として、児童文学作家の斉藤洋さんを講師にお迎えしてご講演いただきました。小学生を対象とした文学の講座は、市立図書館にとって初めての試みでしたが、第1部（小学校1年生から3年生）は99名、第2部（小学校4年生から中学生）は27名と、多くの方にご参加いただきました（各部同伴者等込み）。

1986（昭和61）年に作家としてデビューした斉藤さんは、これまでに子ども向けの物語の本を数多く手掛け、その作品はたくさん子どもたちに親しまれてきました。子どもたちと一緒に講座に参加した保護者の方々も、幼少期に斉藤さんの作品を楽しんだ思い出がある様子でした。現在も続いている『おばけずかん』は、40巻を超えるシリーズで、図書だけでなく電子書籍でも大人気の作品です。

講座では、『ルドルフとイッパイアッテナ』を執筆して、児童文学の新人賞を受賞し、作家になるまでの話を伺うことができました。また、子どもたちが大好きな『おばけずかん』の誕生秘話を、楽しく語っていただきました。参加者からの質問タイムでは、「一番好きなおばけはどれですか？」「一冊の本を書くのにどれくらいの時間がかかりますか？」といった質問に対し、ジョークを交えながら楽しく答えていただきました。

講座の終了後には、サイン会を行いました。子どもたちは、手持ちのノートや、お気に入りの斉藤さんの著書にサインをしてもらい、うれしそうにしていました。

いつも夢中になって読んでいる作品を書いた人が、目の前でお話をしてくれるという状況に、わくわくしている子どもたちの表情が印象的でした。



≪ 斉藤洋先生 著作紹介 ≫

「おばけずかん」シリーズ

斉藤洋／作 宮本えつよし／絵 講談社

「ルドルフ」シリーズ

斉藤洋／作 杉浦範茂／絵 講談社

『ふしぎながっちゃん』

斉藤洋／作 ふじはらむつみ／絵 講談社

「白狐魔記」シリーズ

斉藤洋／作 高畠純／画 偕成社

編 集 後 記

おかげさまで、図書館だより「紙ふうせん」は、この度100号を迎えることができました。100号という節目は、図書館の歩みを振り返る機会であると同時に、これから先を見つめる大切な一歩でもあります。今後も、図書館の活動などをお届けし、利用者の皆さまにより身近に感じていただける紙面を目指してまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

成田市立図書館だより	No.100
発行	成田市
編集	成田市立図書館
〒286-0017	千葉県成田市赤坂1-1-3
	☎ 0476(27)2000
発行日	2025.09.30
登録番号	成教図 25-019